

福島甲子十二 ふくしま 實業家。安政五年十一月二十七日越後國生れ、昭

和十一年二月十九日歿（一八六一—一九四〇）。舊姓鬼頭。明治六年長岡病院

藥師長、のち上京して大學豫備門の醫士。十一年千葉縣衛生課勤務、

十八年東京府水道係長を経て、二十一年東京瓦斯株式會社取締役兼文配
人となる。大正八年病を獲て實業界を引退。この間間日本女子持志女學校

を創設して東京市の寄附、また私立女子美術學校校長を務めらるなど、

教育事業に携はる。號晚晴、洗心庵主、招隱舍主。

編書 『直彦書譜』（明治四十二年八月二十一日自刊、書教社）、『殘

響集』（大正二年八月五日自刊）、『東城懷古詩歌』（大正六年五月

十五日讀書樓藏、飯塚豐刊）、『湯島町會堂湯島町會堂復興復興記念記念傳道大會誌』（昭和十一年

十月二十日斯文會）等。